



今月のNEWSな楽譜&グッズ



★アリアミュージックオフィス

●五楽線ごらくせん(貼ってはがせる五線テープ) 480円(税込)

楽譜、メモ帳、お好きな場所にいつでも貼ってはがせるポストイットのような紙テープ。楽譜を一部追加したい時、五線を引く手間を省けます。好きな長さに切って使え、楽譜を部分的に修正できます。またバリエーション・アレンジも簡単キレイに書け、ノートや手帳にも音符のメモが出来ます。五線の幅は6mm、長さは5mです。

★ドレミ楽譜出版社

●藤澤ノリマサ/マイ・フェイバリット・ソングス 840円(税込)

クラシックの有名なメロディーに独自の歌詞とJ-POPパートを加えた新ジャンル“ポップオペラ”を掲げて活躍している、藤澤ノリマサ初の本人監修によるピアノスコアです。インタビューや撮り下ろしカラーグラビア掲載等、楽譜以外にも楽しめるファン必須アイテムです。

★音楽之友社

●音楽大学・短大・高校音楽科入試問題集 音楽之友社編 6,825円(税込)

2010年春に全国の音大・短大・高校音楽科を受験する人必須の過去問、課題曲集。09年度の入試に出題、公表された問題を中心に編集、掲載。

★春秋社

●ショパンを弾く人のための音楽用語ハンドブック 山崎孝著 2,625円(税込)

イタリア語がほとんどを占める音楽用語。しかし、辞書で調べても具体的な演奏法と原語本来の意味が分からないことが多く、ピアニストの悩みどころです。よく使われる重要語を厳選し、イタリアでの日常的な使われ方と、曲例での具体的な演奏法を解説します。

●やわらかなバッハ 橋本綱代著 2,100円(税込)

ピアノ学習者にとってバッハの楽曲は重要な関門です。ポリフォニー音楽にどうアプローチしていくか。その具体的・実践的な指導・啓蒙書。音律の問題や読譜の基礎をきめこまやかに論じながら昨今の音楽教育を批判しつつ、真に音楽的で効果的な演奏を指南します。

★全音楽譜出版社

●究極の楽典～最高の知識を得るために 青島広志著 2,520円(税込)

本書は基本的な楽典の要素はもちろん、「楽譜はなぜ左から右へ読むのか？」から始まる「学校では教えてくれない」ことまで書かれているユニークな楽典。理論書にありがちな無味乾燥なものではなく、読み物としての楽しさも感じられる充実した内容です。青島氏ならではの解説は丁寧で面白く、独習者にもお薦め!

●氷上のピアニスト 1,575円(税込)

バンクーバー・オリンピックを目前に控え、この冬、大注目のフィギュア・スケート! 日本を代表する有力選手たちの演目曲を集めました。簡単すぎるアレンジではなく、華やかでピアニスティックな豪華アレンジまたはオリジナルの独奏版を収録した弾きごたえのある一冊。

★カワイ出版

●こどものピアノ小品集 こだまの森 三善晃著 1,680円(税込)

「ひびきの森1・2」のなかで改訂版Miyoshiピアノ・メソッドに組み込まれなかった作品をまとめたもの。先生(上級者)との連弾も含み、ピアノの学習が楽しくなるような曲集。メソッドの併用曲集として使うこともできます。

★学研パブリッシング

●4期のピアノ名曲集 1~4 各1,995円(税込)

4期(バロック~古典~ロマン~近現代)それぞれの作品を、作曲家の生年順に構成。1冊を通して時代や様式の変化、特徴を学ぶことで、演奏表現の幅が広がります。付属CDには、全曲の参考演奏を収録、それぞれの楽曲の参考演奏としてご活用いただけるほか、CD1枚を通して聴くことで4期の時代の流れを耳で確認することもできます。冒頭ページには「4期それぞれの時代背景」「鍵盤楽器の歴史」「バロックの作品に



五楽線
(貼ってはがせる五線テープ)
(アリアミュージックオフィス)



藤澤ノリマサ
マイ・フェイバリット・ソングス
(ドレミ楽譜出版社)



音楽大学・短大・高校音楽科
入試問題集
(音楽之友社)

第106号 (2010年1月)

ぶるぐ協会の射程 ~最近の活動より~

まえしま みほ
前島 美保(音楽学)

日本のピアノ受容史において、あまりにも当たり前すぎて、あるいは身近すぎて、これまで見過ごされてきたこと・人・現象に光を当て、真面目に・自由に・多角的に考察する団体、それが「ぶるぐ協会」です。2006年2月に発足し、以来、『25の練習曲』でおなじみのF. F. ブルグミュラー(1806~1874)や日本のピアノレッスン風景に通奏低音のように鳴り響く『ハノンピアノ教本』、サロン音楽の宝庫「全音ピアノピース」といった様々なテーマに取り組んできました。こうした活動の様子は、(社)日本ピアノ指導者協会(PTNA)のウェブサイトにてご覧いただくことができます(「みんなのブルグミュラー」<http://www.piano.or.jp/report/02soc/bma/>)。最近始まった連載は、その名も「25曲を斬る! 大人のためのブルグミュラー」。鼎談形式で大人の視点から『25の練習曲』に迫るシリーズで、今までとは一味違ったブルグミュラー像が浮かび上がってきています(?)。

また2009年に入り、こうしたヴァーチャルな世界を飛び出し、トーク・サロンコンサートと題したライブ活動にて、皆様と濃密な時間を共有しております。第1回は2009年3月8日に「ブルグミュラーと日本サロン音楽」というタイトルで、全音ピアノピースからピアノ編曲版「越後獅子」や2台ピアノによる『25の練習曲』(A. バトラ編)などをお届けしました。第2回は9月23日に開催し、2009年に生誕190年を迎えたC.L. ハノン(1819~1900)に焦点を当て、彼の作曲の知られざる秘曲、本気で挑む『ハノン』第60番、連弾『ぐるぐるハノン』などをお送りしました。こうした演奏会の模様は、トーク解説も含め、一部、YouTubeのぶるぐ協会チャンネルにてご視聴いただけます(<http://www.youtube.com/user/100FFB#p/u>)。

今後も定期的に演奏会を企画して参りますので、ピアノレスナーの皆様もぜひお運びください。

「ピアノを習う人なら誰もが知っているが、まだ誰にも知られていない」を合い言葉に、ぶるぐ協会ではこれからも精力的に調査研究を続けていきたいと思っています。



【写真】第1回トーク・サロンコンサートより(撮影:宮森庸輔)

ぶるぐ協会:2006年2月、ブルグミュラー生誕200年を記念して作られた団体。会長(前島美保)、広報(飯田有抄)、ピアニスト(友清祐子、須藤英子)ほかより構成される。日本のピアノ受容史に独自の切り口で迫る。

前島 美保 Miho Maeshima
東京藝術大学音楽学部楽理科卒業。同大学大学院音楽研究科修士課程を経て、現在、博士課程在学中。専攻は日本音楽史。



今月のNEWSな楽譜&グッズ



★ヤマハミュージックメディア

●ピアノで弾く「映画 のだめカンタービレ 最終楽章」 各1,000円(税込)

のだめと千秋がスクリーンで登場! ピアノで弾きたい、あの曲・この曲が月刊ピアノ増刊号で発売です。収録曲:(中級アレンジ)交響曲第7番第1楽章(ベートーヴェン)/交響曲第7番第4楽章(ベートーヴェン)/他(ピアノソロ 原譜)ソナタ11番第3楽章「トルコ行進曲」(モーツァルト)ピアノ・ソナタ第8番「悲愴」(ベートーベン)(ピアノ連弾)大序曲「1812年」チャイコフスキー/他

★デプロMP

●ひくのだいすき ピアノ編 辻井由美子著 1,050円(税込)

著者が音楽教育45年のノウハウと経験に基づき、音(音楽)と色(色彩、絵)をドッキングし、「美しいものを美しいと感じる心、豊かな感性」を育むために研究・構成。自然に音楽が好きになり、弾くことが大好きになるよう目指した、ピアノ・レッスンのための導入テキストです。

ピアノ指導の現場から

ピアノ教師でもあった大作曲家たち

～ハイフィンガーを嫌ったバッハ先生から弦に指が達するようなタッチのドビュッシー先生～

バッハからドビュッシーまでの大作曲家がどのようなピアノ教師でどのようなレッスンをしたのかをピアノ音楽史順に連載します。是非レッスンにお役立て下さい。

第8回 F. ショパン先生③(1810-1849) ポーランド→フランス ☑ (3回に分けて連載)

■ショパンピアノ教室レッスン内容

1. 姿勢

できるだけ体を動かさず、体を傾けずに鍵盤の両端に手が届くように。右足はダンパーに置き、肘は鍵盤の高さ、手は左右に傾けない

2. 「ショパン・ポジション」

鍵盤に均等な圧力がかかるように、黒鍵に長い指(2Fis・3Gis・4Ais)を、白鍵に短い指(1E・5HもしくはC)を置く。手に力を無理に掛けないようにアーチを作り次の練習をする。

①スタッカート(手首を楽にして、ぎこちなさと重苦☑しさを取り除くために。

☑弟子の手首の下に手を添えてよけいな重さを取り☑除きました。)

②ノン・レガート／重いスタッカート(①よりも指が☑もう少し長く鍵盤をおさえる)

③ノン・レガートに近いアクセントのついたレガート

④レガート(*pp*・*ff*とアンダンテからプレストまで)

* ショパン先生の弟子で指を高く上げて練習した人は☑誰もいない。

3. 半音階と全音階(アルペジオを含む)

指の圧力を均等にし、肘の力を完全に抜いて自然に押させました。

4. オクターブ

手首をテコとして手を振るように、硬くなったりしないようにしっかりと響かせて弾く。

5. タッチ

* 単音の反復音のとき、指を鍵盤から離さないように。☑鍵盤のアップリフトによって指が持ち上げられる☑ように。

* 手首を柔らかく、手が自然に落ちるように、*p*でも☑*f*でも鍵盤の底まで弾く。

* ショパン先生はピロードのような手で、鍵盤をこね☑るようになりました。

☑叩いてはいけません。撫でるように。深く押し込む。

* 指の独立＝指を自然に落とし、手は宙に浮いた状態

* 初歩では早く弾かないこと。手の重さを除くために☑は終始 *p* で練習すること。

6. フレージング

* 「まるでまったく知らない外国語を、無理して丸暗記☑して演説をぶつような演奏をしてはいけません。

☑音節がはっきりと発音されないし、言葉の真ん中で☑切れたりするからです。フレーズの句読点、イントネー☑ションやアクセントを大切にすること!!」と言いました。

7. テンポ

* テンポを保つことを絶対的に☑優先しました。

ショパン先生のピアノの上には、☑常にメトロノームが置かれて☑いました。

8. 声楽

* 優れたオペラ歌手の演奏を聴☑くことと、声楽のレッスンを☑

☑受けることが必修でした。 (日本J.N.フンメル協会会長)

9. ペダル

華やかなパッセージ・息の長いハーモニー・深々とした低音・鋭く輝く音を右のペダルで、軽くひそやかな音・繊細なレースのような音・霧のような音を左のペダルでコントロールする。

10. 指使い

指使いを重視し、良い指使いが決まったら絶対に変えてはいけないと強く言いました。

また、指使いをきちんと書き込むことをさせました。

11. 音量

「音が小さすぎると言われても良い、強く弾き過ぎると言われるよりもまだ。」と主張しました。ショパン先生の*pp*は、どんなに弱くても、鐘のように澄んだ響きで、*ff*は稲妻のように瞬間的でした。また、「ニュアンスを表現するために、クレッシェンドやディミヌエンドをはっきりとつけるように」と激しく言いました。

information

■セミナーのご案内

ピアノの構造と音の出し方～正しいタッチと脱力を学ぶ～

講師：岳本恭治

2010年1月17日(日)10:00～12:00

鯖江市文化センター (JR鯖江駅より徒歩15分)

お問合せ：Comfortさばステーション(0778-52-7430 担当：林)

岳本 恭治 Kyoji Takemoto

武蔵野音楽大学音楽学部ピアノ科及び国立音楽院ピアノ調律科卒業。ロンドン・トリニティカレッジグレード・ディプロマ取得。NHK=FM等の演奏活動と共にピアノ構造学・改良史・奏法史の研究者としてレクチャー、コンサートを国内外で行う。ムジカノーヴァ誌等に執筆。スロヴァキア国際フンメル協会より「フンメル賞」を受賞。著書「ピアノを読む」、「江戸でピアノを」等多数。現在、日本J.N.フンメル協会会長、国立音楽院講師、スロヴァキア国際フンメル協会名誉会員、全日本ピアノ指導者協会(PTNA)正会員。

岳本恭治先生のブログ... <http://jnhummel.com>



岳本 恭治

(日本J.N.フンメル協会会長)

～連載～ ピアノレッスンの今後

♪♪♪ Music Key Lesson レポート ♪♪♪

【岩瀬洋子・田村智子】

以前この紙面でもご紹介したS君。ここでレッスンを始めてちょうど1年がたちます。5歳になりました。スタートのころはとにかく落ち着かず、1つのごとに1分…そして窓から外をキョロキョロしたり、飾り物をいじったり…こちらはじっと待つ。しばらくすると1人遊びに納得したのかこちらをチラと見る。そこを逃さず「S君～見てみて！ワンちゃんだよ～～ん。」早速興味を示し近寄ってくる…スタート当初はこんな状態でした。

そんな我が子に母親がヒヤヒヤ顔。これは母親にとって精神的によくないと判断し、部屋の外で待つ頂くことにした。S君は母親がいなくても別段変化なし。でも母親にとってはそんな我が子の自由さにおおらかに見守る気持ちと、もっと落ち着いてレッスンして～先生もビシッと注意してくれたらいいのに～などなど、レッスンを見ていることがマイナスかな～と。

…今思うとこの外で待って頂いたことは良かったと思います。こんな具合のS君と寄り添いじっくり待ちながら、彼の精神的な成長を期待しながらこの1年レッスンしてきました。

先週、Go! Fingers!が終了しました。そして5指のテクニック1へ。新しい本に嬉しそう顔で「わかる～わかる～ほく弾ける～」と言いながら、なんと初めの所をスラスラと弾いてしまった。「すごい！！」手も見ないで楽譜をしっかりと見て弾けるようになって。「すごいね～ちゃんとご本見てひけるんだね～」「うん！」アルフレッドはBの5度の所。小さい手だが、2度、3.4.5度もちゃんと反応できるようになってきた。アルフレッドのかわいい挿絵などもお気に入り。母親の話だと「宿題に出された2～3日が自分との戦いみたいです。そのうちにだんだんと弾けるようになってきて…そうなると思います。」毎日コツコツ続ける練習「この経験が大事なんですよ～ピアノってすぐには弾けませんものね。」日頃母親に「ピアノのレッスンは通して学べること」など、お話ししているのだがご理解頂いているようで嬉しい。

S君の練習について提案させて頂いているのが、「朝練」の勧め。幼稚園へは9時ころ出かけるようで、朝起きてからの時間が案外機嫌も良くその時間に練習したらどうか…とお話しました。それは良い～ということで朝練習がスタートしました。当然小学生になったら無理になるだろうが、せめて幼稚園の間はこの時間の活用は効果的のようです。こちらとしてはそれまでに何とか音楽的自立に持っていったらな～と思っているのだが…。

毎日のことでお母様も大変なことがおありでは…こちらは心配するのだが、明るく「息子とこの時間はしっかり向き合うようにしているんです。嬉しいことに子供もママとの時間が嬉しいようで、最近では習慣になってきていて、うっかり私が忘れてしまうと、『ママ～練習だよ～～』って。(^_^;)なんか2人のほほえましい様子が目に浮かびます。(^-^)

講座のご案内

講師：岩瀬洋子

●魅力的なピアノ教室実現のための「導入指導マスター講座」
今、「ピアノのおけいこ」のあり方(練習しない親子で根気がないなど)に多くのピアノ教師が悩んでいます。そこで現状を踏まえた「魅力的な教師(指導)、教室作り」が今真剣に求められています。

この講座はそのために何が必要か、実践できる「指導者としてのテクニック」を学べる、まさに今の時代に求められる講座です。

受講者は[Music Key認定証]を取得できます。

【東京】☑リズム編】12/4, 1/15

《テクニック編》2/5, 3/5, 《実践編》5/14, 6/4 (全て金曜日)

【会場】東京芸術劇場第5会議室9：50～11：50

【大分】☑新マスターシリーズ：《テクニック編》1/22

【広島】☑テクニック編】12/9 《実践編》2/3, 3/3

【船橋】☑テクニック編】12/8, 1/12 ☑実践編】2/9, 3/9

【姫路】☑リズム編】12/10 《テクニック編》2/4, 3/4

☑ 《実践編》日程未定

●魅力的なピアノ教室実現のための「ディプロマコース」
これは上記講座修了者がさらに深く学習できるよう実践的な内容で進められます。

30分のレッスンの具体的な進め方や指導の押さえ所、長期プランなど、具体的に分かりやすく進めていきます。受講者は[Music Key Diploma]を取得。

【東京】12/17, 1/14, 2/18, 3/11 (木曜日)

講師：田村智子

●一番やめそうになる基礎のあとの応用編3回講座

【金沢】2/19・3/19・4/16(全て金曜日)

♪ミュージックキーお問合せメールは musickey@musickey-piano.com

♪ミュージックキーのホームページは <http://www.musickey-piano.com/>

株式会社プリマ楽器

〒103-0004 東京都中央区東日本橋1-1-8

TEL 03-3866-2221 (業務部) TEL 03-3866-2224 (営業部)

FAX 03-3866-2222

札幌営業所

〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東9-11-50

TEL 011-219-7121 FAX 011-219-7115

名古屋営業所

〒453-0016 愛知県名古屋市中村区黄金通り2-59 プリンセス名駅西1階1A

TEL 052-486-2630 FAX 052-486-2636

News88のバックナンバーが、プリマ楽器ホームページからご覧いただけるようになりました！

閲覧・ダウンロードはこちらから

<http://www.prima-gakki.co.jp/>